

平成21年度 松山市小学校情報教育研修会

# 「共に創ろう！」これからの情報教育

—子どもたちの「生きる力」を育てるために—

主催 松山市小学校情報教育研究委員会  
共催 デジタル表現研究会 (D-project2)

**期 日** 2009年 **8月3日** (月) 【9:30~16:30 (9:00受付)】

**会 場** **全体会：テクノプラザ愛媛 テクノホール**  
**分科会：テクノプラザ愛媛 テクノホール**  
**小会議場等**

## スケジュール

	9:00	9:30	9:35	10:30	10:40	12:00	13:00	16:30	
8月3日(月)	受付	開会行事	<b>情報研の 実践事例発表</b>	休憩	<b>情報活用能力育成 実践事例発表</b>	情報研からの お知らせ	昼 食	<b>分科会A</b> どうなるの?2011年の教室 ~知恵の輪ホームページ& e黒板を使つての実践(外国語教育など)~	閉会行事(分科会中心)
			高浜小 仁木雅彦先生 双葉小 大奈路睦先生 八坂小 豊島茂樹先生 堀江小 森 哲大先生 味生小 石橋恵美先生 窪田小 滝野幸治先生 石井小 中矢圭紀先生 コメンテーター 替地和人校長先生 総括 都築伸二先生		雄郡小 山岡健二先生 荏原小 石田年保先生 コメンテーター 中川一史先生			<b>分科会B</b> メディアで創造する力を育てよう -D-project2 スライドショーワークショップ- 共催：D-project2 <a href="http://www.d-project.jp/2007/index.html">http://www.d-project.jp/2007/index.html</a>	
					<b>分科会C</b> 授業で使おう!NHK デジタル教材! <a href="http://www.nhk.or.jp/school">http://www.nhk.or.jp/school</a>				

### 実践事例発表内容

- 「情報モラル教育のツボ」  
(松山市立雄郡小学校 教諭 山岡 健二)  
新学習指導要領にも明記され、いよいよ待ったなしの状況になった情報モラル教育ですが、各学校での取り組みはまだ十分とは言えません。実践事例を交え、そのポイントを解説いたします。二学期からの実践にお役立てください。
- 「メディア表現で子どもたちの思考力・表現力を鍛えよう」  
(松山市立荏原小学校 教諭 石田 年保)  
昨年度本研修会で「メディア創造力」を高めるための、スライドショー作りのワークショップを行いました。そこで学んだ学習プロセスを生かして、実際に授業実践をしてみました。その実践結果をみなさんにお伝えします。昨年度、ワークショップに参加された先生方、必見です。

コメンテーター 中川 一史先生

### 分科会内容

- A：どうなるの?2011年の教室**  
デジタルテレビやe黒板の導入が近づいてきています。導入前にいち早くどんなことができるのか覗いてみましょう。ご存知知恵の輪ホームページや外国語学習のソフトをe黒板を使ってご紹介しします。少し先の授業を体験してみましょう。  
講師 渡部英綱先生
- B：D-project ワークショップ**  
映像と言葉を往復させながら、そして、グループで建設的な妥協点を探りながら、一つの作品作りに取り組むプロジェクト型の学習。そこには、豊かな表現力や論理的な思考力を育てるための学習プロセスがあります。そして、協同的な学びがあります。中川先生・佐藤先生と一緒に、メディアを生かした授業づくりについて考えていきましょう。  
コーディネーター：横浜市高田小学校主幹教諭 佐藤 幸江先生  
コメンテーター：中川 一史先生
- C：授業で使おう!NHK デジタル教材!**  
NHKにはすぐに使える学校放送番組やデジタル教材が盛りだくさん!NHK 青少年・教育番組部 専任ディレクターの宇治橋先生を講師に招き、学校放送番組やデジタル教材の利活用についてのヒントやアイデアをいただきます。さらに、ワークショップを行いながら、番組を効果的に使った授業づくりに取り組みます。  
講師 宇治橋祐之先生

## 対 象

小・中学校教職員 教育関係者 **200名**

## 講師紹介

### 中川 一史先生

放送大学ICT活用・遠隔教育センター教授、地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業デジタル放送教育活用促進協議会企画委員広報部会委員（文部科学省）、理科教材開発・活用支援事業推進委員会普及・促進分科会主査（科学技術振興機構）、D-project 2（デジタル表現研究会）会長など、日本の情報教育の第一人者として活躍されています。中川先生の活躍を、様々な研究会や研究紙等で見聞きしている方は多いと思います。小学校教諭・教育委員会指導主事の経験もあり、現場の教員の立場をより理解し、最先端の情報教育の理論や指導方法を、子どもたちの授業に活かされるよう、具体的な事例をもとに分かりやすく話させていただきます。平成17～19年度に渡って本研修会で講演をしていただきました。

一昨年度から、松山市小学校情報教育研究委員会授業支援外部顧問として、松山市の情報教育の推進を支援していただいています。

中川先生ホームページ 「<http://www.hitorin.com/>」

### 都築 伸二先生

愛媛大学大学院理工学研究科通信システム工学講座准教授として、新しい通信技術の研究・開発を行っています。最近の研究としては、様々な家電機器をすべてネットワークで接続するための通信方式の研究開発・電力線通信技術を行っています。PLC（高速電力線通信）アダプターなどが、その技術を使っています。また、超高速ネットワークを前提とした、DVデータ（デジタルハンディカメラの動画データ）のリアルタイム伝送装置の開発に取り組んでいます。平成19年度には本研修会でご講演いただき、平成18年度には、中核市（情報教育）管理職研修の講師として、愛媛・松山のネットワーク環境の現状と展望について、管理職の先生方にわかりやすく話していただきました。

昨年度から、松山市小学校情報教育研究委員会、インフラ等整備外部顧問として、松山市のICT環境の整備を支援していただいています。

都築先生ホームページ 「<http://miyabi.ee.ehime-u.ac.jp/~tsuzuki/self/index.html#pt1>」

### 佐藤 幸江先生

D-project2の副会長として、表現学習を通して、自分なりの発想や創造性、柔軟な思考を働かせながら自己を見つめ、切り拓いていく力「メディア創造力」を子どもたちに育成するために、様々なプロジェクトを立ち上げ、教育実践を行うなどして活躍しています。そのプロジェクトの一つ、「学校連画：絵のリレー」では、インターネットとデジタル表現のよさを融合したダイナミックで協調的な造形活動を推進し、図工とコンピュータとの新しい教育の形を提唱されました。また、国語科でのICT活用を実践も積み重ね、授業における効果的なICT活用方法を数多く考案されています。その実践の中でも、光村図書出版、「国語デジタル教科書」を活用した実践は、様々な教育書で目にされている方も多いと思います。

### 宇治橋祐之先生

NHK青少年・教育番組部 専任ディレクターとして、平成元年入局以来、小学校から高校までの学校教育番組全般や教師向け番組などを制作、インターネット上の「NHKデジタル教材」には開発当初から担当されています。現在はデジタル展開と普及・促進業務を担当されています。

### 渡部 英綱先生

元松山市立梧中学校校長。在職時、松山市中学校情報教育研究委員会会長、愛教研技術家庭科委員長など、愛媛県の情報教育の第一人者として活躍されました。現在は、学校教育や生涯学習に役立てることを目的としたデータベース、「知恵の輪」ホームページの主催者です。「知恵の輪」では、バケッツサーバー・システムを使って、現教職員・教員OBなどお互いの知識や知恵、経験をもとにボランティアで資料を作成して蓄え、検索で取り出し活用できるよう活動しています。他にも、愛媛県視聴覚教育協会顧問、愛媛県生涯学習講師として活躍されています。

知恵の輪ホームページ 「<http://www.aikyotie.com/tie/default.asp>」

## 申し込み方法

送り先

松山市小学校情報教育研究委員会

[kensyu-order@insnet.co.jp](mailto:kensyu-order@insnet.co.jp)

松山市内の方はミライムで、市外の方はメールにてお知らせください。

締め切り日 7月17日（金）

○ 所属校 ○ 氏名 ○ 希望分科会  
をお知らせください。

## 会場周辺地図



## 備考

○ できるだけ乗り合わせの上お越しください。会場に駐車できない場合は、松山市立窪田小学校に駐車をお願いするようになります。